

再生可能エネルギーの活用 小国町・関川村議会が小水力発電の取り組みを視察します

飯豊山系砂防事務所では、砂防堰堤を利用した小水力発電に取り組んでいます。小国町議会・関川村議会が、合同で開催する研修会にて、中山間地の活性化にも寄与する自然エネルギーの活用の事例として、小水力発電の実施状況を視察します。

日時:平成24年11月30日(金)13時30分～

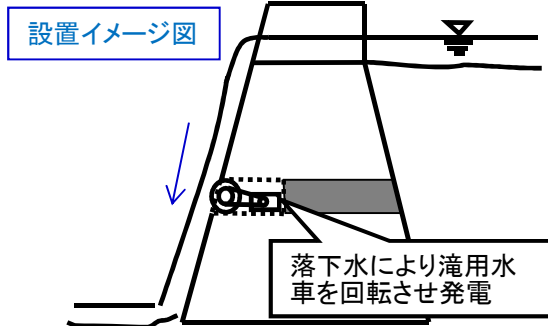
場所:小国町役場(山形県西置賜郡小国町大字小国小坂2-70)
樋ノ沢第1号砂防堰堤(小国町荒沢地先)

予定:13:30～ 小国町役場にて小水力発電の概要説明

現地へ移動し、14:30頃から樋ノ沢第1号砂防堰堤の施設見学

砂防堰堤を活用した小水力発電とは？ 樋ノ沢第1号砂防堰堤での取り組み

砂防堰堤から流れ落ちる水を、滝用水車に当てることで水車を回転させ発電を行っています。現在、発電した電力を流域監視用カメラ等の防災情報機器への電力供給手段として利用しているよう、モニタリング調査を進めています。



※ 取材について

現地については、駐車スペースの制限がありますので、取材を希望される場合は問い合わせ先までご連絡願います。

問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 飯豊山系砂防事務所
副所長(技術担当) 川村 修蔵
調査・品質確保課長 山本 敏一
電話 0238-62-2079